



□家族の大切さから人権の大切さを□



『アカウンタビリティinみつ』での5・6年生のみつば太鼓

「発表の秋」が終わり、「2学期まとめの12月」となりました。子どもたちはいろいろな発表の機会を与えていただき、その度に確かな成長を見取ることができました。これも、いつも温かいご声援を送ってくださる保護者・地域の皆様のご支援の賜物です。本当にありがとうございます。

さて、12/4（木）～10（水）は人権週間です。11月には「いのち・愛・人権」見附展パネル展が開催され、見学に訪れた方もいることと思います。

新潟県では、この間を人権教育強調週間と位置づけ、各校で「生きる」等を活用した授業や参加体験型学習等を行うことで豊かな心を育むこととしています。田井小でも、一人一人の『いじめゼロのための行動宣言パート2』を振り返ったり、人権について考える授業を行ったりしています。

人権とは.... 世界人権宣言のなかで次のように明確に述べられています。

すべての人間は、生まれながらにして自由であり、尊厳と権利において平等である。

では、皆様のご家庭では、人権に関することが話題となりますでしょうか。改まって話す機会はないかもしれません。ですが、家族が互いに認め合い、支え合い、皆が大切な存在であるという人間関係を通して、人権の大切さを感じ取っているのだと思います。先日の3・4年生の『1/2成人式』でも、命を授かった喜びや家族への感謝の気持ちを親子で伝え合う場面が見られました。

これからの年末年始にかけては、家族での時間も増える時期となります。家族の大切さを通して身に付けていく人権の意義を大切にしていきたいものです。

この2学期も、皆様からはご支援・ご協力を、また、職員・子どもたちへの激励を多々いただきました。本当にありがとうございました。寒さが厳しくなってきましたがご自愛され、どうぞよいお年をお迎えください。（校長 伊藤芳文）



『アカウンタビリティinみつ』での3・4年生の群読

見附市音楽祭(11/6)

5・6年生によるみつば太鼓『輝く翼』と全校合唱『ひろい世界へ』を披露しました。太鼓も合唱も10月の学習発表会からさらにレベルアップした内容に、会場からは大きな拍手と多くの賛辞をいただきました。



児童会みつば祭り(11/20)

『みんなニコニコ元気なあいさつ 出店もがんばるみつばっ子』のスローガンのもと、各学年が工夫を凝らした出店でお客様をお迎えました。

自分が楽しむだけでなく、お客様に楽しんでもらうことに喜びを感じていた子どもたちです。

また、6年生の感想には長年の夢が叶い「1年生の頃から憧れていたお化け屋敷ができました」という発表が、5年生からは3月の六送会に向け中心となって活動していく決意が述べられました。

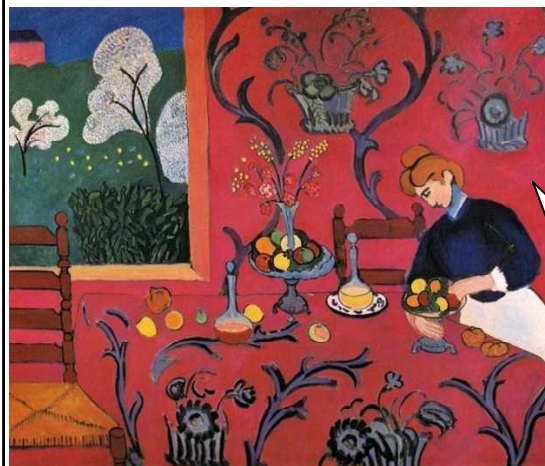


園児になぞなぞを出す1・2年生



行列ができた3・4年生のシュートゲーム

みつけ子ども大学(11/21)



この絵を見て、どう思いますか？

新潟大学の田中准教授を講師に「絵を見る楽しさ(作品鑑賞とは)」について3～6年生に授業をしていただきました。



引き込まれるように見入る子どもたち

4つの学年が一緒ということで、心配していた田中先生でしたが、授業後は子どもたちの反応の素晴らしさに感動されていました。

「絵の見方(基準)は、いろいろ。」「よく観察して、発見しよう。」といった鑑賞の仕方について学んだ子どもたちでした。